

研究課題名	1型糖尿病合併妊娠における非計画妊娠の発生率の時代変化の検討
研究の意義・目的	1型糖尿病の方が妊娠するときは、血糖コントロールと合併症の管理を妊娠前からしっかり行ったうえで妊娠すること（これを計画妊娠といいます）が理想です。計画妊娠は、患者さん自身（母体）と赤ちゃんの双方にとって、より安全な出産とするために必要なことです。このことを患者さんに伝えるため、私たち大阪公立大学医学部附属病院小児科の医療スタッフは、これまで、1型糖尿病の患者さんや家族の方に向けた性教育セミナーを行ったり、DVDを作成して配布したりしてきました。今回の研究で、計画妊娠と非計画妊娠の割合がどう変わっていているかをみることで、これまでの私たちの活動が効果的であったかを評価し、今後の患者さんへのよりよい伝え方を探していきたいと考えています。
研究を行う期間	機関の長の実施の許可日～2027年3月
研究協力をお願いしたい方（対象者）	1型糖尿病と診断されている方で、2006年8月から2022年7月までの間に妊娠が判明しており、妊娠経過中に大阪公立大学医学部附属病院小児科を受診された方
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 診療情報：1型糖尿病発症年齢、妊娠時の年齢、妊娠時の1型糖尿病罹病期間、妊娠時のHbA1c、計画妊娠か非計画妊娠か、自然流産・人工流産の率、妊娠経過、分娩転帰
試料・情報を利用する者の範囲	この研究は大阪公立大学医学部附属病院小児科のみで行います。
試料・情報の管理について責任を有する者の研究機関の名称	公立大学法人大阪、大阪公立大学医学部附属病院
本研究の利益相反	利益相反の状況については研究者等が利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	大阪公立大学大学院医学研究科 発達小児医学 (担当者氏名) 柚山 賀彦 電話番号：(06) 6645-3816 メールアドレス：y-yuyama@omu.ac.jp